



カフェ日和



オーナーの那須さんが集めていたアンティーク家具が、まるで明治時代からそこに置かれていたかのようにマッチしている。優しく差し込む陽射しも窓ガラスに伝わる雨も全てが心地いい。

「私がこの雲山萬化荘でカフェをすることになったのは解体2週間前のことでした」と語るのはオーナーの那須佳世さん。設計業界で働くご主人が持ち主から相談を受け、それを耳にした那須さんが文化的にも価値

のあるこの建物を取り壊すのは忍びないと開店を決心する。自分でカフェを開くことを夢見て、少しずつアンティーク家具などを集めていたが、オープンには本当に運命的だったという。「万葉集にも詠まれた和歌浦で育ち、観光客で賑わう時代もよく知っています。だから少しでもその活気が戻ればと思い、ゆったりとした時間と空間を提供したいと思っています」と那須さん。建材として使用されている上質なムクノ木が、外からの音を防ぎ、室内は驚くほど静かで、明治から続く120年以上の時間の流れを感じたい。

上品なクラシックホテルのような空間が広がるカフェリエールは、陸奥宗光の従兄弟で第2代農林大臣岡崎邦輔の別荘だった。窓の外には手入れの行き届いた日本庭園、和の室内に置かれているヨーロッパのアンティーク家具。まるで昔からそうであったかのような安心感を与えてくれる。

値のあるこの建物を取り壊すのは忍びないと開店を決心する。自分でカフェを開くことを夢見て、少しずつアンティーク家具などを集めていたが、オープンには本当に運命的だったという。「万葉集にも詠まれた和歌浦で育ち、観光客で賑わう時代もよく知っています。だから少しでもその活気が戻ればと思い、ゆったりとした時間と空間を提供したいと思っています」と那須さん。建材として使用されている上質なムクノ木が、外からの音を防ぎ、室内は驚くほど静かで、明治から続く120年以上の時間の流れを感じたい。

時間の流れを感じながら 和歌山の歴史に触れるカフェ。



リエールとはフランス語でツタのこと。オープンと同時に植えたツタがようやく生き茂って来た。



写真上から >> クラシックホテルのような落ち着いた店内 / 新設されたテラス席は爽やかな風が心地いい / 和歌浦の不老橋



カフェ リエール 雲山萬化荘

住所 / 和歌山市和歌浦中3-5-5
電話 / 073-445-1186

Wakayama Cafe biyori